

平成28年度 堺市障害者自立支援協議会 第4回 障害当事者部会
議事概要

日時	平成28年9月28日(水) 14:00~16:00
場所	堺市総合福祉会館 5階 第1研修室
出席者 (敬称略)	丸野、白石、北村、茅原、辻本、奈佐、松本、石橋、前田、三田
欠席者 (敬称略)	席田、川淵、増田
事務局	【堺市障害施策推進課】桐山、杉本
事務局補助	【総合相談情報センター】上田、小出
傍聴	10名

● 当事者交流会について

【事務局から】

- ・「当日の進行、司会、部会の説明者、グループの進め方」を決めてほしい。
- ・委員のグループ分け案、アンケート案と座席案の確認をお願いします。
- ・チラシを委員に配布するので、周知をお願いします。

【委員から】

- ⇒ ・最初に丸野部会長から開催の挨拶。部会の説明は白石副部会長（プロジェクターに
プログを映し出す）。司会は茅原委員に決定。
- ・委員のグループ分け案、アンケート案、座席案については、資料のとおり承認。
 - ・グループでは、次の話題から始める。（その後は、自由に話す。）
ヘルパーの話題のときは、「ヘルパー使っていますか？」
防災の話題のときは、「日頃、準備していることは何ですか？」、「近所の方と日頃の
付き合いはありますか？」
最後に、「あなたの小さい幸せはなんですか？」

【三田会長から】

- ・障害者のグループホームを建設している積水ハウスの方が交流会の見学に来ても良
いか？
⇒ 【委員から】・見学に来ることを認める。

● プログについて

- ・プログの更新を確認。

● グループホーム研修会への講師派遣の報告について

【事務局から】

- ・当日は、38名の参加があった。参加者アンケートの報告を行なった。

【講師をした委員から】

- 発達障害の話をするると新鮮な反応があった。福祉業界でも発達障害の当事者に会うことは少ないのかと思った。
- GHに長いこと入っていたから、その経験を言えて良かった。
- スタッフとしてやりたいこととのギャップが大きいかなと思う。支援者も何をしてあげたらいいか、というところが見えていなくて、「その間を埋めないといけないなあ」と発表を聞いていて思った。支援者は、特に生活面をしっかりと見ることに一生懸命になっていて、楽しみの部分を見逃してないかと思う。もっと肩の力を抜いて支援すれば良いのになと思う。
- 自立するための基盤になっている。(GHは) ずっといるところと思ってなくて、私も3年間のGHの暮らしの中で、一人暮らしになる前にいろいろ学んで準備段階をふめた。プライバシーが保たれにくい、自分のやりたいことが全て出来ない、良いところもあるが。

【委員から】

- 温情主義が見えすぎる。(温情主義とは「本人の利益になるようにと、本人の気持ちを考えず行動すること。」)
- 当事者から「出来るところ」と「出来ないところ」を言わないといけないが、言えない人も多い。
- (支援する人、支援を受ける人という) 関係性の問題もある。
- 精神の方に過去のことを聞くことはタブーだと思っている人も多い。
- 当事者側から話すばかりではなく、やり取りが出来れば良いのではないか。
- 仕事をしている人たちがこんなに情報がないのが不思議だと思う。
⇒ 当事者が伝えたことが一方通行になるので、グループディスカッション参加してやり取りした方が良いのではないか。

● 今後の予定について

- 10月は、当事者交流会。
- 11月は、「当事者交流会の振り返り、新任委員の発表」を行なう。

● その他

- 委員公募の結果について
⇒ 身体障害枠に、奈佐さんが採用された。10月か委員として就任される。
 - 難病枠は、採用なし。
- 部会終了後、茨木市自立支援協議会との交流会を実施。

● 次回 障害当事者部会交流会

- 10月26日(水) 14:00~16:00 堺市産業振興センター4階セミナー室4